



日本イェイツ協会会報 第83号

2024年3月

1. 2023年度第59回日本イェイツ協会年次大会プログラム (最終版)
2. 第60回日本イェイツ協会年次大会 (予定)
→ 日本T.S.エリオット協会との合同大会
3. 訃報
4. 会員近刊・アイルランド文学関係近刊
5. 会費納入のお願い

1. 第59回日本イェイツ協会年次大会プログラム

2023年11月12日(日)

会場 立教大学池袋キャンパス7号館

研究発表 10:00~12:00

1. 「イェイツ作品における衣服のモチーフの展開—「キャスリーン・ニ・フーリハン」における衣服の象徴性—」

岡田 咲 (京都大学/院)

司会 三好 みゆき

2. 「イェイツとキム・ヨンナン—“While I Stand on the Roadway, / or on the Pavements Grey”—」

山内 正太郎 (明治大学/非)

司会 佐藤 容子

3. 「シェイマス・ヒーニー詩集 *North* の日本における受容と発展—北畑光男詩集『飢饉考』を中心に—」

水崎 野里子

司会 中尾 まさみ

12:00~13:00 総会および昼食

13:00~14:00 講演

Hegel, Fenollosa, Pound, Yeats, and the “Single Clarified Impression” of Nō

講師 Andrew Houwen

司会 Akiko Manabe

14:15~17:00 シンポジウム「W.B.イェイツの亡霊—イェイツ作品の共時的・通時的な文脈と影響について」

司会・講師 坂内太

講師 岡室美奈子 「イェイツ、ベケット、濱口竜介の作品における言葉の起源と降霊術」

講師 小林広直 「アイルランドの無冠の王」を悼する—ジェイムズ・ジョイス『若き日の芸術家の肖像』から、W・B・イェイツ「パーネルの葬儀」へ

講師 坂内太 「彷徨い続けるアイルランド

—『キャスリーン・ニ・フーリハン』(1902年)から『ラフタリーの丘で』(2000年)へ」

講師 諏訪友亮 「“To write for my own race”

—イェイツとウォルコットに見るポストコロニアルの幻影」

久々の対面での単独学会でした。坂内太先生ご司会によるシンポジウムにおいては、懐かしい、この学会ならではの質疑応答の活気に浸ることができました。Andrew Houwen 氏のご講演は素晴らしく、研究発表もすべて刺激的な内容で、ご登壇の皆様にご心より感謝申し上げます。ささやかな懇親会での語らみもお楽しみいただけたのではないかと思います。今回ご参加いただけなかった会員の方も、学会の成果の集大成としての『イェイツ研究』の最新号をぜひご一読ください。次の京都での年次大会でお目にかかれましますの心より楽しみにしております。

2. 第60回日本イェイツ協会、第36回日本T.S.エリオット協会、合同年次大会

とき：11月9日(土)、10日(日)

ところ：京都府立大学

会場校をお引き受けくださった西谷茉莉子先生にこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

☆ 発表の応募申し込み：7月末日。発表者氏名、所属、メールアドレス、発表タイトル、400字程度の概要

☆シンポジウム

「モダニズムの多様性—イェイツ、エリオット、ロレンスの関係から見えてくるもの」

司会・講師 浅井雅志氏

講師 阿部公彦氏 「エリオットとジャンル」

講師 伊達恵理氏 「イェイツ『私』の錬成—新時代を生きるために」

イェイツの19世紀から20世紀にかけての作風の変化の過程に改めて注目し、エリオット、ロレンスの作品とも合い照らしつつ、イェイツにとって「モダン」/「モダニズム」とは何であったかを問い直したいと思えます。

☆ワークショップ

「越境する詩学—モダニズムの諸相」

司会・講師 井上和樹氏

講師 鈴木暁世氏

講師 佐藤亨氏

「越境」をテーマに、翻訳や比較文学・文化的な視点からモダニズムについて再考するワークショップを行います。とりわけ、イェイツやエリオット、および、二人の詩人に関連した郡虎彦、久米民十郎、アーサー・シモンズなどに焦点を当てることで、「越境する詩学」について考察します。

☆朗読と講演

Performing Yeats and Eliot Utilizing Noh-Kyogen

Techniques: Noho Theatre Group Lecture-Demonstration (仮)

Timothy Medlock (Doshisha Women's University)
Jonah Salz (Noho Theatre Group director, former Professor, Ryukoku University)

1981年の結成以来、イエイツ、エリオットの詩や劇を能舞台にて上演してきた能法劇団の主宰・演出家のジョナ・サルズ氏(元龍谷大学教授)に過去の演目について解説をいただいた後、ティモシー・ドロック氏(同志社女子大学准教授、役者)に「ブルーロックの恋唄」の朗読をしていただきます。(変更の可能性あり。)なお、サルズ氏の講演は動画で行われます。

3. 訃報

虎岩正純先生が2023年10月27日にこの世を去られました。尾島庄太郎の最後の弟子の1人として早稲田で教えられ、アイルランド入門の授業を担当(当時のテキストは、マリー・ヒーニー著 *Over Nine Waves, The Story of English* の章“The Loaded Weapon”、ジェファーズの *A New Commentary* を引きながら読むイエイツの詩、ほか)。友人シェイマス・ヒーニーの弟ヒューとの巡り合いを、美文と得意のスケッチで彩る「ベラーヒへの道」¹ や著書『イギリスの中から』での体験は、先生が会うたびに口にされていたことです。研究者として何かを言い当てられたと仰っていた渾身の“The Black Tower”論は、トイレで天啓に打たれ物されました²。常にいそしんでおられたのは、英詩や回文の創作³、晩年は彫刻など。あちら側でも霸気満々と思われそうですが、心よりご冥福をお祈りいたします。

注1『英文学』(早稲田大学英文学会)第70号 2『イエイツ研究』第35号 3『英文学』早稲田大学英文学会)第85号 (諏訪友亮)

4. 会員近刊・アイルランド文学関係近刊

☆ 会員近刊

Akiko Manabe, 'A Country Over Wave: Japan, Noh, Kyogen', Chapter 33 of *The Oxford Handbook of W.B. Yeats*, ed. Lauren Arrington, Matthew Campbell (Oxford: OUP, 2023) 国際的に活躍するイエイツ研究者による42章の重厚な論集。

榎木 伸明『ポール・サイモン全詞集 1964-2016』(2023/08/10)『ポール・サイモン全詞集を読む』国書刊行会 (2023/10/7)「ポール・サイモンの文学的・詩的な歌詞の魅力そして凄さとはなにか? サイモン&ガーファンクル時代からソロ時代まで網羅した『ポール・サイモン全詞集』収録作品と最新作『七つの詩篇』(2023年)の全210曲をあらゆる角度から徹底解説!解説文より

水崎 野里子『歌集 全山紅葉』ホールサック社 (2023/9/28)「比喻を何重にも重ねた想像力を喚起させる言葉」(解説文より)

水崎野里子, デイヴィッド・クリーガー『コロナ俳句』Independently published (2023/7/10)

岩田 美喜『キャリル・チャーチル 前衛であり続ける強さと柔軟さ (英語)文学の現在へ』三修社 (2023/12/15) 現代イギリス演劇を代表するキャリル・チャーチルの全体像を知るための必読書。

中村 高朗, 虎岩 直子(編著)『記憶と芸術: ラビリントスの罅』法政大学出版局 (2024/3/4) イエイツとヒーニーについての論考が「記憶と芸術」というコンテキストならではの精彩を放つ。

ブライアン・ボイド(著), 小沢 茂(訳)『うたはなぜ滅びないのか: 進化、認知、シェイクスピアのソネット』鳥影社 (2022/12/25)「人がこの世にある限り、詩は生き続けるのだ」という帯の言葉に目を奪われる。

☆ アイルランド文学・イエイツ関係出版物

J. ジョイス, W. B. イエイツ, 下楠 昌哉(訳)『妖精・幽霊短編小説集』(平凡社ライブラリー949) 平凡社 (2023/7/10) 作品の選択、構成の妙により、すでに知られた作品に新たな価値と魅力が生まれている。

玉井 暁『イギリス世紀末文学の詩学 ウォルター・ペイターとオスカー・ワイルド』金星堂 (2024/1/20) 日本屈指のペイターとワイルドの大家による集大成。

日本サミュエル・ベケット研究会 編, 木内 久美子 監修『ベケットのことは』未知谷 (2023/11/29) ベケット研究会創設30周年を記念した価値ある論集。

5. 会費納入のお願い

2023年度会費納入(一般7,000円、学生3,000円)をまだ済まされていない方は納入をお願いいたします。協会は、会員の皆様方の会費で運営されております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

すでに会費をお支払いくださいました皆様にはお気遣いに深く感謝いたします。

今回、2021年度からの会費納入状況のお知らせと合わせて、新年度(2024年度)の会費納入のお願いをさせていただきます。ご確認の上、ご不明な点などございましたらお問い合わせください。

*2023年に2022年度分あるいはそれ以前の会費をお振込みになられた方は、2023年分が未納になっておりますのでご注意ください。確認したい方がおられましたらいつでもご連絡ください。

振込先: ゆうちょ銀行

*ゆうちょ口座からお振込

総合口座 ニホンイエイツキョウカイ

口座記号 10100

口座番号 5171271

*他の金融機関からお振込

普通預金: ニホンイエイツキョウカイ

店名: 〇一八 (ゼロイチハチ、セ〜で検索)

店番: 018

口座番号: 5171287

(振込できない場合は51712871)



<日本イエイツ協会は、日本学術会議協力団体の登録団体です>

*****The Yeats Society of Japan*****

日本イエイツ協会事務局
〒606-8051 京都市左京区吉田二本松町

京都大学人間・環境学研究所

池田寛子研究室内

Email: ikeda.hiroko.2v@kyoto-u.ac.jp

